

第6学年 外国語科学習指導案

日 時 令和6年10月17日（木）5校時

1 単元名 自分と世界のつながりを伝えよう！

（参照：NEW HORIZON Elementary6 Unit5 Where is it from?）

2 単元について

○児童観

本学級は誰とでも分け隔て無く関わることができ、何事にも積極的に取り組むことができる児童が多い。コミュニケーション活動を楽しんだり、自分の思いや考えを相手に伝えたいという思いをもち積極的に友達と関わろうとしたりする姿がよく見られる。また、外国の文化や習慣に興味をもって自ら進んで調べたり、お手本を見て英語を書いたりしようとするなど、外国語学習に前向きな姿勢が感じられる。一方で、英語で自分の考えや気持ちを話すことや人前で話すことに対して苦手意識を感じている児童もいる。そのような児童が安心して学習に取り組み、自ら進んで自分の思いや考えを話すことのできる場を設定したいと考えた。学級内で発表をすると、調べる段階で内容が分かってしまい、新たな驚きや発見がなくなってしまうかもしれない。そこで、隣のクラスの友達に向けて、発表する場面を設定する。このような場面を設定することで、自分たちの発表を初めて聞く相手に向けて、どうすれば自分の思いや考えが伝わるのかを考え、発表がよりよくなるように、友達と助言し合うことができると考える。自分たちの身近なものの生産国について調べて、発表する内容に自分の考えや気持ちを取り入れることで、自分の思いを伝え、相手に分かってもらえるという喜びを味わわせ、主体的に外国語に取り組む態度を養いたい。

○教材観

本単元では、自分たちと世界とのつながりを知るために、身の回りのものの生産国などについて、聞き取ったり紹介したりする。そこで、隣のクラスに身の回りのものがどこの国から来たものかについて調べたことを発表する。発表をする際に、その国で見えるものや食べられるもの等についても話すことで、既習事項を生かし、言語活動の充実を図りたい。実際に自分の身の回りにあるものを取り上げ、自分が調べたことや自分の考えを、調べたり発表に向けて取り組んだりしている過程を知らない相手に伝えることで、相手に伝わりやすいようにするために、伝え方や紹介する順番をどうすればよいのか等を工夫し、自分たちの思いを伝えることができたという達成感を味わってほしい。また、単元を通して、自分が身の回りのものが、世界の国々とつながっていることに気づき、外国語の背景にある文化についての理解を深めてほしいと願っている。

○指導観

指導にあたっては、第1時と第2時で映像や音声から、身の回りの生産国などについてのやり取りの概要を捉えられるようにする。第3時では、オリジナルサンドイッチを考え、その食材やその産地についての表現に慣れ、友達と簡単に伝え合うことができるようになる。第4時では、身の回りのものの生産国やその地域を調べ、その国を紹介する際の紹介文など、どのような発表にするかを考える。その際、どのようにすれば相手に伝わりやすくなるのかを考えさせたい。第5時では、学級の中でアドバイスしながら、表現を振り返ったり、情報を整理したりして、自分たちの発表が相手に伝わるように工夫していく。発表の内容については、Unit3で学習した過去を表す表現（I ate ~. It was ~.）等やUnit4で学習した国や場所の魅力を紹介する表現（You can see ~. / You can eat ~. / It's ~.等）も使えることに気づかせたい。第6時では、前時までの学習を振り返り、自分たちの思いがより伝わるように、工夫したものを作り、グループで練習したり、伝え合ったりする。その際、コミュニケーションのポイントとして普段から伝えていることや、紹介する順番を工夫することも相手に伝わりやすくなる工夫の一つであることも気づかせたい。第7時では、実際に隣のクラスの児童と発表し、自分の考えをお互いに伝え合う。第8時では、前時までの学習を含めて、日本と世界との交流の歴史について考え、日本と世界とのつながりに対する理解を深めていく。

3 単元の目標

自分たちと世界のつながりをよく知るために、身の回りのものとその生産国について、具体的な情報を聞き取ったり、隣のクラスの友達に、自分たちと世界とのつながりをよく知って興味をもってもらうために、伝えようとする内容を整理した上で、自分の思いや考えを含めて話したりすることができる。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p>〈知識〉 身の回りのものとその生産地等についての言い方 (This is ~. / It's from ~. 国名 is in 地域) 及びその関連語句について理解している。</p> <p>〈技能〉 身の回りのものとその生産国についての具体的な情報を聞き取る技能を身につけています。</p>	自分たちと世界のつながりをよく知るために、身の回りのものとその生産国についての具体的な情報を聞き取ることができる。	※次単元と合わせて、記録に残す評価を行う。
話すこと (発表)	<p>〈知識〉 身の回りのものとその生産国等についての言い方 (This is ~. / It's from ~. 国名 is in 地域) 及びその関連語句について理解している。</p> <p>〈技能〉 身の回りのものとその生産地等についての言い方 (This is ~. / It's from ~. 国名 is in 地域) 及びその関連語句を用いて、考え方や気持ちなどを話す技能を身につけています。</p>	自分たちと世界のつながりをよく知って興味をもってもらうために、身の回りのものとその生産国について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の思いや考えを含めて話すことができる。	※次単元と合わせて、記録に残す評価を行う。

5 単元の指導と評価の計画 (8 時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (○)	評価			
		知 技	思 判 表	態 度	◎評価規準 (評価方法) ※指導・学習改善のための評価 (方法)
1	<p>◆身の回りのものの生産国について伝える表現を知り、話の概要をとらえることができる。</p> <p>○Small Talk ○どこから来たのクイズ ○身の回りのものの生産国を表す表現を知る ○Let's Chants & Let's Sing ○Activity (Listen and Think) ○振り返り</p>				※本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導は行う。 (形成的評価)
2	◆身の回りのものの生産国についてのやり取りの表現を聞いたり言ったりすることができる。				

2	<ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk ○どこから来たのクイズ ○友達とペアで自分の持ち物とその生産国について伝え合う ○Let's Chants & Let's Sing ○Activity (Let's Watch & Let's Listen) ○振り返り 	(質)		※身の回りのものとその生産国について具体的な情報を聞いている。(行動観察・ワークシート分析)
3	<p>◆サンドイッチの具材を例にその産地について話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk ○Activity① (Let's Watch & Let's Listen) ○オリジナルサンドイッチを考え、その具材と産地について友達と伝え合う ○Activity② (Let's Try) 	聞	聞	○オリジナルサンドイッチ具材の産地について、話している。(行動観察・ワークシート分析)
4	<p>◆身の回りのものの生産国などについて話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk ○発表の内容について考え、ペアで伝え合う ○Activity① (Let's Listen2) ○Activity② (Let's Read & Write) ○振り返り 	(質)		※身の回りのものとその生産国について、話している。(行動観察・ワークシート記述分析)
5	<p>◆身の回りのものとその生産国について、自分の思いや考えを含めて話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk ○Let's Chants & Let's Sing ○同じカテゴリーのグループ内で、身の回りのものとその生産国について発表する ○Activity (Enjoy Communication) ○振り返り 	(質)	(質)	※身の回りのものとその生産国について、話している。(行動観察・ワークシート記述分析)
6 (本時)	<p>◆自分たちと世界とのつながりをよく知って興味をもって聞いてもらうために、身の回りのものの生産国について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の思いや考えを含めて話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Small Talk ○Let's Chants & Let's Sing ○自分とは異なるカテゴリーのグループに対して、身の回りのものとその生産国について発表する ○Activity (Enjoy Communication) ○振り返り 	発	発	○身の回りのものとその生産国についての語句やその関連語句について理解し、それらを用いて話している。 ○相手に自分たちと世界のつながりを知って興味をもってもらうために、伝える内容を整理した上で、身の回りのものとその生産国について自分の思いや考えを含めて話している。(行動観察・ワークシート記述分析)
7	<p>◆自分たちと世界とのつながりをよく知って興味をもってもらうために、身の回りのものとその生産国について話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リハーサルを各グループで行う ○グループごとに発表を行う ○振り返り 	発	発	○身の回りのものとその生産国についての語句やその関連語句について理解し、それらを用いて話している。 ○隣のクラスの友達に、自分たちと世界のつながりを知って興味をもってもらうた

				めに、身の回りのものとその生産国について自分の思いや考えを含めて話している。 (行動観察・ワークシート記述分析)
8	<p>◆日本と世界の交流の歴史等について考え、日本と世界のつながりに対する理解を深めることができる。</p> <p>○Small Talk ○Let's Sing ○Activity (Over the Horizon) ○振り返り</p>			※本時では記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。(形成的評価)

※第1時～第2時と第4～5時、第8時では、記録に残す評価は行わないが、指導改善・学習改善のための評価(形成的評価)を行う。

6 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標(第6学年)

聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
・ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。	・活字体で書かれた文字を識別しその読み方を発音できる。 ・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かる。	・基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりする。 ・日常生活に関する身近で簡単な事柄について自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	・日常生活に関する身近で簡単な事柄について伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	・大文字、小文字を活字体で書くことができる。また語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができる。
・ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について具体的な情報を聞き取ることができる。		・自分や相手のこと、身の回りの物に関する事柄について簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができる。	・身近で簡単な事柄について伝えようとする内容を整理した上で自分の考えや気持ちを簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができる。	・自分のことや身近で簡単な事柄について例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができる。
・ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近な事柄について短い話の概要を捉えることができる。				

7 本单元で扱う主な言語材料

This is my Where is it from? It's from ~ . My ... from (国). (国) is in (地域).

~ is a nice country. We are the ~ team. Can you guess?

衣類 (shirt, T-shirt, sweatshirt, sweater, uniform, pants, jeans, cap, hat, gloves, socks, shoes)

食材 (meat, beef, chicken, pork, bacon, ham, cheese, egg, fish, salmon, octopus)

文房具 (crayon, marker, pen, pencil, pencil case, eraser, ruler, glue, scissors, stapler, notebook)

8 本時の活動（第6時）

(1) 目 標 相手に自分たちと世界のつながりをよく知って興味をもって聞いてもらうために、身の回りのものとその生産国について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の思いや考えを含めて話すことができる。

(2) 展 開

時間	児童の活動	指導者の活動		指導上の留意点 ◎評価規準（評価方法）
		HRT	JTE	
1分	Greeting ・挨拶をする。	・挨拶をする。		・英語で挨拶をしたり歌を歌ったりして、楽しい授業の雰囲気をつくる。
1分	・Let's Sing を歌う。	・Let's Sing を歌う。		
5分	・Small Talk をする。 「行きたい国」	・「行きたい国」についてモデルを示す。 ・困り感のある児童には個別支援をする。		・既習表現を活用しながら思いや考えを自由に伝えられるようにする。 ・学級全体で困り感を共有し課題解決を図る。
1分	・本時のめあてを確認する。	・本時のめあてを提示する。		・単元の最後の活動の目標につなげられるように、児童に意識付けを図る。
身の回りのものとその生産国について興味をもってもらえるように発表しよう。				
10分	Activity① ・前時までの振り返りをもとに、自分とは異なるカテゴリーの友達に発表する。	・それぞれのグループをまわり、言い方に困っていないかなどを観察したり、助言したりする。		・身の回りのものとその生産国について、よく知って興味をもって聞いてもらえる発表にするにはどうすればよいか、めあてに意識を向けることができるようする。
<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> (児童紹介例) This is my T-shirt. It's from China. China is in Asia. China is a nice country. </div>				
12分	【中間指導】 ・自分の発表と友達の発表と比較して、よかつた点やまねしたい点等について発表する。 ・紹介の内容や方法等について改善する。	・中間指導を行い、紹介の内容や方法について気づいた点を問う。		・相手が興味をもって聞くような発表となるように、改善点について方向性がもてるようする。 ・各自の課題に応じて、前時の動画の振り返りやデジタル教科書の活用、指導者との会話や相談等から選択し、自己調整が図れるようする。 ・困り感のある児童には寄り添い、必要に応じて支援を行う。 ・必要に応じて中間指導

		<p>〈期待する自己調整内容〉</p> <p>【言語面】</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現などについて正しく言えるようにデジタル教科書でモデル音声を聞いたり、教師と共に練習したりする。 <p>【内容面】</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報を付け加える。 自分の思いや考えを加える。 話す順番を工夫する。 聞き手を意識して問いかける。 <p>【態度面】</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し方や表情を意識する。 <p>・どのような方法で、どのような点を改善したかについて問い合わせ、全体で共有する。</p>	<p>を行い、目標に向けた自己調整を促すようにする。</p>
12分	<p>Activity②</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りのものとその生産国について改善した発表を別のカテゴリーの友達に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善点を生かして紹介し合えるように声かけをする。 必要に応じて中間指導を行う。 	<p>◎知識・技能</p> <p>身の回りのものとその生産国についての語句やその関連語句について理解し、それらを用いて話している。</p> <p>(行動観察・振り返りシート・後日パフォーマンステスト)</p> <p>◎思考・判断・表現</p> <p>相手に身の回りのものとその生産国についてよく知って興味をもってもらうために、伝えようとする内容を整理した上で、自分の思いや考えを含めて話している。</p> <p>(行動観察・振り返りシート・後日パフォーマンステスト)</p>
	<p>(児童改善例)</p> <p>Hello. This is my T-shirt. It's very cute.</p> <p>Where is it from? Can you guess?</p> <p>It's from China. China is in Asia.</p> <p>You can eat gyoza. You can see pandas.</p> <p>My pen is from China, too.</p> <p>China is a nice country.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全体の前で紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体の前で紹介することを告げ、児童を指名し、発表を聞く。 改善された点を児童と共に確認する。
3分	<p>Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を振り返る。 <p>Greeting</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童のよかつたところを伝え、次時の学習への意欲を高められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 次時への見通しをもたせる。

(3) 評価及び指導の例

「話すこと（発表）の知識・技能」

「おおむね満足できる」と判断される状況(b)	自分たちと世界のつながりを相手によく知って興味をもつて聞いてもらうために、身の回りのものとその生産国について、言いよどんだり、表現を誤って用いたりしながらも、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。
「おおむね満足できる」状況(b)を実現するための具体的な指導	必要に応じて助言や支援を行い、学習改善につなげる。デジタル教科書や動画の表現等を活用したり、指導者と共に個別に練習したり、学級全体でも練習する時間を設けるようにする。

「話すこと（発表）の思考・判断・表現」

「おおむね満足できる」と判断される状況(b)	自分たちと世界のつながりを相手によく知って興味をもつてもらうために、身の回りのものとその生産国について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の思いや考えを含めて話している。
「おおむね満足できる」状況(b)を実現するための具体的な指導	中間指導の際に、友達の発表やデジタル教科書、指導者や友達の表現を参考にしたり、個別に問いかけたりして、学習改善につなげる。